

「最初は、使用した農薬や肥料を毎回記録するのに慣れない農家もいました」と振り返る沼田専門家。しかし、それまで目分量で使っていた農薬を、いつ、どれだけ量を散布したか記録に残すことで、適正なタイミングと量が分かるように。それによりコスト削減を達成する農家も出てきた。

さらに、ベリシックGAPに沿って作られた農作物には、安全という付加価値が付き、高く売れる。研修を担当する内田恭男専門

8年に「Viet GAP」で100以上の項目が制定された。しかし点検すべき項目が専門的過ぎるため、農家にも一般の人々にもほとんど浸透していない。

そこで、福島県の職員として長年にわたり農業普及に携わってきた沼田光夫専門家がベトナム農業農村開発省の職員と共に取り組んだのが、GAPを実践する意義を伝え、現在の「Viet GAP」から約30の項目を抜き出した「ベリシックGAP」をつくること。圃場の土や水が汚染されていないか、農作物を出荷前に洗う場所は清潔か、農薬の空き容器を専用回収する廃棄場があるか、農薬や肥料をまく時期、量、方法は適切か……。こういった必要最低限の項目をチェックして記録し、問題があればその都度改善していくことになった。

家も活動に加わり、GAPの普及に取り組み地域の一つ、ハロン市で直売所を設置してみた時のこと。GAPを紹介するポスターを貼り、産地や生産者の情報を印刷したテープで野菜を縛って販売すると、好評だった。

「消費者からは、誰が作ったか分かるので信用できる。少し値段が高くても買う」といううれしい言葉をもらいました」と内田専門家。安全が購入の決め手になっているのだ。ハナム省のタン・スン・ホア作物生物課長は、「日本のように安全な農作物が当たり前になる国にしていきたい」と抱負を語る。

新品種でさらなる農業の発展を

また、農業の発展に欠かせないのが新品種の開発。しかし何と言っても、時間とお金がかかる。そこでベトナムは今、品種登録制度の普及を目指している。新品種を知的財産権として守ることで、種苗会社などに使用料が入る仕組み。開発のコストを回収し、次の品種開発につなげてもらうためだ。

ベトナムで品種登録をするには、まず農業農村開発省に申請し、各地にある国立植物品種評価センターでの試験栽培を経て、正式に認定される。しかし、ここで問題が起こった。センターの職員が農



センターでキュウリの特性を調査する職員たち。新しい品種が生まれれば農家の選択の幅が広がり、収益の向上につながる

作業の実務経験に乏しく、栽培を適切に行う技術が低かったのだ。農薬の散布時期を逃してキュウリの苗が全滅してしまったり、肥料をやりすぎてトマトの実が大きくならなかったりと、認定以前の問題が浮き彫りになった。

そこで、長年日本で品種登録に携わってきた水野忠雄専門家が各センターを訪問し、栽培技術はもちろん、葉の長さや茎の太さなど、

品種の特性の見分け方を指導した。「稲なら65もの特性を調査する必要がありますが。差が分かりにくいのも多いですが、職員たちが自信を持って判断できるようになってきたうれしいですね」と話す。

生産性向上への取り組みが第一段階なら、ベトナムが目指す農業はその一歩先。付加価値を付け、制度を整えることで、新しい農業を広めていく。



新品種を判別するポイントについて説明する水野専門家



農薬の使用量などをチェックしたシートを農家から見せてもらう沼田専門家(左)

安全な農作物を食卓に届けたい。そう追求し続けてきた日本ならではの知見を生かして、ベトナムの農業をレベルアップさせる取り組みが進んでいる。

一歩進んだ農業国へ



from ベトナム
Viet Nam



使い終わった農薬の容器を回収する場所を訪れた内田専門家(左から2人目)

安全が売れる時代が来た!

「このニンジンには千葉県の田中さんが作りました!」

日本のスーパーの野菜売り場では、こんな表示をよく見かける。顔の見える生産者をアピールすることで、消費者に安心して商品を買ってもらうことが狙いだ。

日本の協力を得ながら、この安全を売りにした農業を広めようとしているのがベトナム。近年は経済成長に伴い、食の安全への意識

が高い中間層が増えてきた。しかし、たとえ農家が農薬の使用量を守って生産しても、それを証明する手段がなく、消費者に伝わらないのが現状だ。

そこで普及を進めているのが、先進国の多くが採用している「農業生産工程管理」、略して「GAP (Good Agricultural Practice)」だ。これは、栽培から収穫、出荷までの生産工程で点検すべき項目を定めることで、適正な生産を管理するもの。最近ではアジアでも採用され始め、ベトナムでは200



ハロン市の直売所に、生産者の情報を分かるようにして並べた野菜。ベトナムでは画期的な販売方法だ